



2025 年 8 月 4 日

ブルーカーゴ株式会社

第 93 回 2025 年 7 月度安全衛生委員会

開 催 日 2025 年 8 月 4 日（月）11：00～12：00

開催場所 NTN 三重製作所 第三会議室

- 1) 全員唱和 (新妻安全管理者)
- 2) 議事進行 (安全管理者)
- 3) 7 月発生事故検証 (対象関係推進員)
- 4) 報告・審議事項
 - ①NTN 三重製作所安全衛生委員会要旨報告 (衛生管理者)
 - ②安全パトロール報告 (衛生管理者)
 - ・ 8 月度より、青山・本社倉庫の安全パトロール実施、ウチダは巡回
 - ・ 輸送のパトロール提案
 - 北勢倉庫、NTN 桑名、NTN 物流輸出センターのパトロール
 - ③各部署別月間安全取り組み結果及び計画 (各推進員)
 - ④ヒヤリ・ハット体験状況報告 (各推進員)
 - ⑤労働災害統計報告 (衛生管理者)
 - ⑥その他報告・審議事項
 - ・ 令和 7 年度第 98 回全国安全週間行事結果
 - 安全ヘルメット状況…全 42 基中、19 基合格、23 基は順次更新予定
 - ※労働安全衛生規則：材質 ABS の交換規準は 3 年（使用開始から）
 - @3,200 円/基
 - ・ 令和 7 年度全国労働衛生週間 10 月 1 日～7 日（準備期間：9 月 1 日～30 日）
 - ・ フォークリフト事故…よくある事故動画（復習） (衛生管理者)
 - ⑦要望、意見、連絡等

5) 第 94 回 2025 年 8 月度安全衛生委員会開催日予定

9 月 12 日 (金) 11 : 00 ~ 12 : 00 NTN 三重製作所 第三会議室

6) 閉会のことば

(総括安全衛生管理者)

安全管理の基本理念

- 一、安全は全てに優先する
- 一、安全なくして生産なし
- 一、生産なくして会社の繁栄なし
- 一、会社の繁栄なくして従業員の幸せなし
- 一、安全管理の原点は人間愛と責任感である

安全監督者管理の5大任務

- 一、安全衛生の確保
- 一、品質の維持向上
- 一、生産目標の達成と納期の厳守
- 一、原価低減
- 一、職場の人間関係の向上

令和7年6月1日

ご安全に！

(人身、物損)作業事故報告書

報告者 ブルーカーゴ㈱

水谷社長 殿

提出日: 2025年 7月 15日

水谷 鋭粋



分類	1.転落・墜落 2.転倒 3.激突 4.飛来・落下 5.崩壊・倒壊 6.激突され 7.はさまれ・巻き込まれ 8.切れ・こすれ 9.踏み抜き 10.おぼれ 11.高温低温の物の接触 12.有害物との接触 13.感電 14.爆発 15.破壊 16.火災 19.動作判定反応・無理な動作 20.接触 21.その他 22.分類不能					
事故発生	内容	事故内容を簡単に説明に トラック後部バックライト及びバンパーと コンクリートスロープの接触		発生日時	2025 年 7 月 8 日 (火) 8 時 48 分	
	場所	発生場所 NTN熊桑名製作所内 NTN物流資材センター トラックスケール(看貫)北側入口スロープ		車番	三重111あ7	
	対象	製品又は対象物 コンクリートスロープ		内訳	同左	
	当事者			部署	—	
	総会			直近の従業員総会に ☒ 参加した ☐ 不参加		
原因	① ブリケット(研削カス)引き取りのため、NTN桑名様へ入場 ② 空車重量を計測するため、左バックにて看貫北口から入場 ③ 計測終了後、高橋商会様のヤードにて、ブリケット積み込み ④ ブリケット積み込み後の重量計測のため、看過北口に 右バックで入場 ⑤ 車両後部のバックライト(右側)及びバンパー(右)が コンクリートスロープに接触した。 ⑥ バック時に異音に気づいたので前方に車両を移動し、NTN 物流部の藤原課長に状況確認していただき指示を仰ぐため、 その場にて待機した。 ⑦ 看貫南口からバックで入場し、計測を終了した。		添付資料1~4参照 			
損害	事故品	【修理】選別・廃棄】 社内での類似事故は? 損害金額 円 有り・ ☒ 初めて 対応時間 時間		事故処理	直後対応 周囲作業→藤原課長様 当社:本人→安全担当 西村→新妻部長 事故品 スロープ修繕をお願いしました。	
再発防止	人的	(人が対応する場合) ・車両が替わる時は、車高が安全な高さであることを事前に確認する。 ・看貫へは北口より前進にて入場する。(北口側からの進入が正式ルールであること)				
	設備	(設備で対応)				
上司コメント	漠然と「安全確認」とか「基本動作」の言葉ではなく具体的に書く 車両乗換時、差異を確認の上、乗車すること					日付 7月7日
(写)送付先	総括安全衛生管理者	運行管理者	安全管理者	衛生管理者	事務局	安全衛生推進員

注)①太枠内は当事者記入・不明の部分は空白
注)②事故発生後2日以内に提出

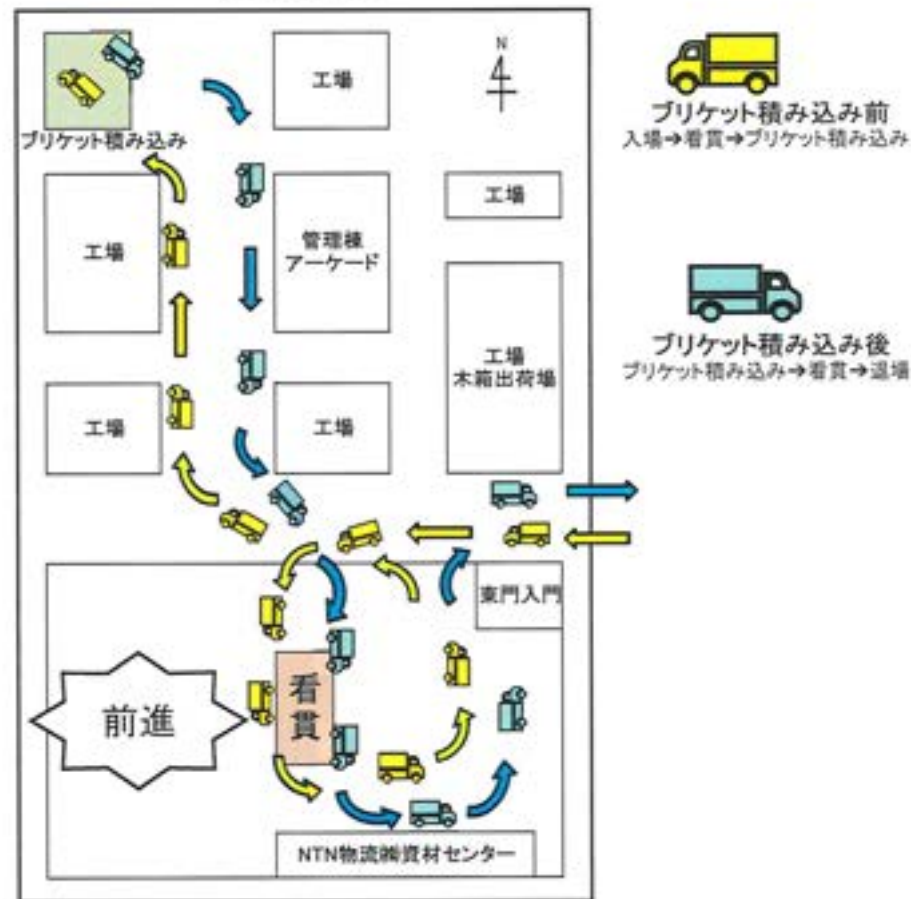
《事故発生》



ブリケット積み込み前
入場→看貫→ブリケット積み込み

ブリケット積み込み後
ブリケット積み込み→看貫→退場

《対策後》



ブリケット積み込み前
入場→看貫→ブリケット積み込み

ブリケット積み込み後
ブリケット積み込み→看貫→退場

地面高さ検証



車両7 左前部～地面 : 10cm



車両7 左側部～地面高さ : 12cm



車両7 後部平地～地面 : 32cm

【資料2】



車両7 後部入口～地面高さ : 46cm



車両7 左前部入場全景



車両7 左側部全景

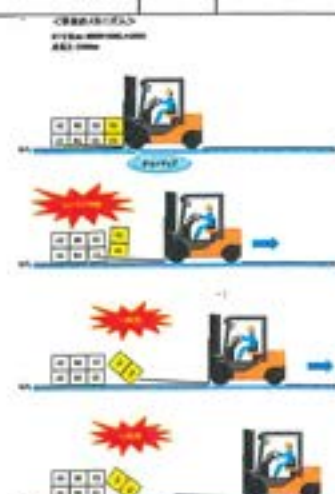


車両7 後部平地全景



車両7 後部入口全景

(人身、物損) 作業事故報告書

水谷社長 殿		提出日: 2025年 7月 29日		報告者 ブルーカーゴ 新妻 利昭	
分類	1.転落・墜落 2.転倒 3.激突 4.飛来・落下 5.崩壊・倒壊 6.激突され 7.はさまれ・巻き込まれ 8.切れ・こすれ 9.踏み抜き 10.おぼれ 11.高温低温の物の接触 12.有害物との接触 13.感電 14.爆発 15.破壊 16.火災 19.動作判定反応・無理な動作 20.接触 21.その他 22.分類不能				
事故発生	内容	事故内容を簡単明瞭に		発生日時	2025 年 7 月 28 日 (月) 10 時 30 分
	場所	発生場所 NTN舞桑名製作所内 NTN物流資材センター 荷卸し出荷場	車番	住友フォークリフト B-2	天候 晴れ
	対象	製品又は対象物 K1内製品を転倒させた。(K1:1列×2段) NTN三重第2熱処理完了品をNTN桑名に配送し、荷降ろし後に発生	内訳	入数×箱数 合計 B0:90個 上段:NUPK314HTX3C3 (B0:50個) 下段:NJ2314C4 (B0:40個)	総会 直近の従業員総会に 参加した ☒ 不参加 ☐
	事故に至った状況	① NTN桑名向けの製品の入ったK1を荷下ろした。 ② K1:2段×4列を長爪フォークで指定場所に置いた。 ③ 爪を抜く為、後方を確認しながらリフトを後退させた。 ④ 爪を抜いている時、手前のK1:1列×2段の底部に接触し、引っ掛かったため、2箱とも転倒して一部製品が箱から飛び出した。 ⑤ 爪を確認したところ、チルトはアップしたままであった。			
原因	・爪をチルトアップしたままで、爪を抜いたため、爪がK1底部に接触し引っ掛かって転倒した。 ・爪を抜くためリフトを後退させた時、後方に気を取られていたため、爪が抜ける状況を確認していなかった。		事故処理	直後対応 0 周囲作業→藤原課長様、加藤主任様 事故品 NTN三重様の品証部門に検査選別をお願いしました。一部手直しありましたが、全品合格で再出荷となりました。	
損害	事故品 [修理 ☒ 選別・廃棄] 損害金額 円 対応時間 時間	社内での類似事故は? ☒ 有り・初めて			
再発防止	人的 (人が対応する内容) ・爪をリフトダウンし、爪の水平を水準器と目視で確認する。 ・爪を抜く際には、後方及び爪が抜ける状況を目視にて確認する。 設備 (設備で対応) リフト作業で後々大事にけど前もちゃんと見て作業下さい。				
上司コメント	漠然と「安全確認」とか「基本動作」の言葉ではなく具体的に書く				日付 8 月 / 日
(写)送付先	総括安全衛生管理者	運行管理者	安全管理者	衛生管理者	事務局
	安全衛生推進員				
注)①太枠内は当事者記入・不明の部分は空白 注)②事故発生後2日以内に提出					

<事故のメカニズム>

K1寸法mm: 800W*500L*400H

爪長さ: 2000mm





事故発生1



事故発生2



爪チルトアップ



爪水平



NJ2314C4(B040個)



NUPK314HTX3C3(B050個)

感電懸念箇所の調査及び対策について

6月13日、テーパー製作課にて発生した感電の重大HHTの対策に伴い、感電懸念箇所の調査を実施していただきました。**(総件数79件)**

	軸受工場	ローラー工場	熱処理工場
総件数	50	29	なし
必要対策数	22	15	なし
除外数	28	14	なし

・除外としたものの基準

①対象が交流回路でない ②被膜が破れていない

(事業場)

三重製作所

熱処理工場

労働災害報告書

(速報) (不労災)

総括安全
衛生管理者印
(川崎)人事総務
管理部長印
(川崎)安全主務
課長印
(川崎)事業場長・
工場長印
(川崎)課長印
(川崎)

A 災害状況の把握

1) 速報(L-11号) (25年7月22日)

2) 報告(L-11・12号) (年 月 日)

作成者

第2熱処理課

職場

山口 智由

(川崎)

① 災害発生日時・場所・作業等の概要

A(年月日)	B(曜日)	C(曜番)	D(時刻:24H表示)	E(時間帯)	F(天候)
'25 7 20	日	平日	18:45	定時外	晴れ
G(課・職場)	H(場所)	I(作業区分)			
第2熱処理課	社内・場内	業務・定常			
J(起因物)	K(加害物)	L(被災時の作業)			
オールケース炉	気温・湿度	熱処理作業			
N(事故の型)	O(現認者)	M(単独)作業			
その他	岡田 和隆				

② 被災者の特性

B 氏名	C(性別)	D(年齢)	E(勤続)	F(経歴)
	男	46才	17年	17年
G 生年 月 日 (西暦)	H 入社 月 日 (西暦)	I(役職)	J(勤務)	K(入社)
年 月 日	'08 年 1 月 16 日	作業員	交替	途中
N(現住所・TEL)	M(雇用区分)			
TEL()	正規社員			
O(安全衛生に係る資格・教育・職種)	P 職場経験	第2熱処理課		
クレーン点検特別教育(5t未満)		'08 年 '25 年		
研所磁石取扱特別教育		1月~7月		
玉掛け特別教育(1t未満)		年 月		
フォークリフト運転免許(1t以上)		年 月		
I(医療機関・主治医・付き添い者名および所属)	最急総合医療センター			
	付き添い: 岡田和隆 部長			

③ 傷病の内容・程度・処置

A(部位)	D(処置方法)
全身	外部医療機関
B(性質)	
熱中症	
C(程度)	E(診断書)
加療 見込み 0 日間	あり
F(休業期間)	H(診断書)
月 日 ~ 月 日	日

④ 災害の発生状況

① 出来るだけ簡潔に記入する。
② GWHで出来るだけ簡潔に具体的な事実を記入する。
③ 事実であれば被災者の心理状態の記入は可、但し否定的に書かないこと。

- 7:00 出社し、通常作業を行っていた。(写真①)
- (定時時間中は熱中症を気にして、20~30分間隔で水分補給を行っていた)
- 18:45 残業前の休憩時に再度水分補給と塩分補給を行った。(水分摂取量1.5L程度/業務中)
- 18:30 作業場で立ち尽くす姿を他の作業員が確認、声掛けしたところ受け答えは出来ていた。
- 18:45 嘔吐したので水分補給のために休憩室でスポーツドリンクと水と塩分補給を行ったが、再度嘔吐して、足のしびれが症状に出たので、休憩室へ移動。
- 19:00 休憩室で身体を冷やし、経口補給液(OS-1)を飲み休憩すると同時に熱中症チェックシートを実施した。
- 19:05 熱中症の症状が確認されたので救急車を呼ぶために連絡。救急車は救急搬送が立込み、すぐには迎えに行けないと回答を受けた。
- 19:30 救急車が到着して病院へ向かった。病院での処置を受けその日のうちに帰宅した。
- 作業環境(WBGT28.3℃、外気温36.7℃(11:50))
- 定時時間(1部勤務): 7:00~16:40 緊急残業時間: 16:55~19:10
- 休憩室室温: 21℃(20℃設定)
- 体調: 朝から汗が出づらいと所感あり
- 始業時と残業前に、体調確認していた。
- 本人も残業の2時間は問題ないだろうと判断した。

⑤ 現場見取図および組織図

休憩室 場内レイアウト

作業エリア

作業エリア

【オールケース炉情報】
炉: 全6基
処理バッチ数: 約20バッチ/直

写真①

オールケース炉生産作業写真
(製品積み下ろし作業)

課長
係長
班長
本人

管理・監督者 氏名 山口課長 係長 堀係長 班長 岡田班長

1) 熱中症の発生メカニズム



カラダ
(個人差)

に注目する。

No	ハザード (危険源)	危険・有害状態の洗い出し	リスクアセスメント(上段:対策前/下段:対策後)							リスクコントロール	
			リスクの見積り			リスクレベル			発生頻度	発生場所	対応策
1	<リフト課出荷場> 出荷場扉	出荷場扉の開閉用ストッパーに、木箱を使用しており踏きの危険あり。 そもそも製品用木箱を使用すること自体が不適切である。	2	2	2	6	I	無	2	ドアストッパー治具を取り付けた。 治具が外れて手を挟まない様に、マグネット式とした。	
			2	1	2	5	I	無			
			責任者		納期	対策完了日		完			
			堀田課長		6月30日	7月11日					
			対策後写真							確認者コメント	
			  							ドアストッパー治具が外れてこないことを確認した。 7/17 西村	
2	<リフト課出荷場> 出荷場シャッター前 衝突防止ポール	出荷場前にある衝突防止ポールにリフトが衝突により、取り付けボルトが外れて曲がっており、危険である。発生日時・状況とも不明なこと、発生者より直接異常発生報告がないことが問題である。 朝礼にて事故内容については発信済みである。 尚、NTN三重様には修理をお願いしました。	2	4	4	10	II	無	1	修理までの間、「ボルト欠損中 注意」の警告掲示した。	
			2	2	4	8	II	無	1		
			責任者		納期	対策完了日(暫定)		暫定			
			堀田課長		6月30日	7月11日					
			対策前写真							暫定対策後写真	
			   							暫定的に注意警告掲示したが、早期修理を要請した。 7/17 西村	



※判定：○完璧にできている、問題なし △一部出来ていない、一部異常 ×複数人が出来ていない、複数人が異常

2025年8月度 安全パトロールチェック
 青山特殊鋼鉄桑名物流センター

日時 2025年8月5日(火)午後2:00～2:30

パトロール者 西村

立ち合い者 新妻部長

青山	チェック項目	ここがポイント	採点	記事
1	5Sの実施状況	挨拶はできているか？ 名札・服装は適正か？		
2		梱包材や治具・道具が指定場所に置かれているか？		
3		作業場(足元・机上)に、不要・不明物はないか？		
4		消火器・配電盤周辺の整理整頓はできているか？		
5	不安全状況・行動の有無	フォークリフト運転で、ヘルメットを正しく着用しているか？		
6		止まれ位置(一旦停止)で、完全停止しているか？		
7		フォークリフト始動時に、左右前後確認しているか？		
8	設備装置の不備	通路の確保、段差・スベリ・躓きなし、床面の油水零れなし		
9		配線電線の地面這いなし、被膜剥がれなし		
10		クレーン・フックに異常はないか？		
合計			0	

2025年8月度 安全パトロールチェック
 本社倉庫(段ボール)

日時 2025年8月22日(金)午前11:00～11:30
 パトロール者 西村
 立ち合い者 新妻部長

段ボール	チェック項目	ここがポイント	採点	記事
1	5Sの実施状況	挨拶はできているか？ 名札・服装は適正か？		
2		梱包材や治具・道具が指定場所に置かれているか？		
3		作業場(足元)に、不要・不明物はないか？		
4		消火器・配電盤周辺の整理整頓はできているか？		
5	不安全状況・行動の有無	フォークリフト運転で、ヘルメットを正しく着用しているか？		
6		止まれ位置(一旦停止)で、完全停止しているか？		
7		フォークリフト始動時に、左右前後確認しているか？		
8	設備装置の不備	通路の確保、段差・スベリ・躓きなし、床面の油水零れなし		
9		配線電線の地面這いなし、被膜剥がれなし		
10		EVの安全装置に異常はないか？		
合計			0	

2025年8月度 安全パトロールチェック

輸送

北勢倉庫/NTN桑名資材/NTN物流輸出センター

日時 未定

パトロール者 西村

立ち合い者 新妻部長

北勢倉庫/NTN薬石良材/NTN物流輸出センター

輸送	チェック項目	ここがポイント	採点	記事
1	5Sの実施状況	挨拶はできているか？ 名札・服装は適正か？		
2		車内は整理整頓清掃されているか？		
3				
4				
5	不安全状況・行動の有無	フォークリフト運転で、ヘルメットを正しく着用しているか？		
6		止まれ位置(一旦停止)で、完全停止しているか？(車・リフト)		
7		フォークリフト始動時に、左右前後確認しているか？		
8	設備装置の不備	車輪止め		
9		フォークリフトのシートベルト着用(北勢倉庫)		
10				
合計			0	

各部門の月間安全取組

8 月 4日 安全衛生委員会

	7 月				8 月		
	前月の目標	取り組んだ内容	結 果	安全 会議	今月の目標	取り組む内容	安全 会議
	目標の内容	実際に行ったこと	目標が達成できたのか、未達の場合は原因は何か？	実施日	具体的内容に絞って目標を決める。	目標にそった具体的内容とし、確認・安全・基本動作等の漠然とした言葉は使わない。	予定日
輸送	荷物を積み込む前に、状態を目で確認して指差呼称をする。	リフト作業前に荷物の状態をきちんと指差呼称して確認する。 『リフトの荷物の干渉・接触なし ヨシ！』	リフト事故はなく、目標を達成できました。	7/5	荷物を積み込む前に、状態を目で確認して指差呼称をする。	リフト作業前に荷物の状態をきちんと指差呼称して確認する。 『リフトの荷物の干渉・接触なし ヨシ！』	8/22
リフト	場内へ入る時は、指差呼称する。	場内へ入る時は一旦停止し、指差呼称する。 『左右確認ヨシ！』	事故ゼロを達成しました。	7/5	場内へ入る時は、指差呼称して左右の安全を確認する。	歩行で場内へ入る時は一旦停止し、指差呼称する。 『左右確認ヨシ！』	8/20
青山	リフトの後方確認をしてから、後退する。	リフトの後方確認は指差呼称を行う。 『リフト後方確認ヨシ！』	リフトの後方確認は8割できていた。	7/5	リフトの後方確認をしてから、後退する。	リフトの後方確認は指差呼称で確認と唱和を実施。 『後方確認ヨシ！』	8/5

ブルーカーゴ部安全衛生委員会

※7/30(水)事務局までご提出お願いします。期限前でも記入が終わり次第提出してください。
記入内容が具体的でない場合、連絡させていただきますので宜しくお願いします

ヒヤリ・ハット体験状況 2025年 7月度

No	種類	発生日	場所・状況	所属	作業	ヒヤリハット体験状況(どのような作業で・何を使用した時・どうなったのか)
1	転倒ヒヤリ	—	全般	輸送	リフト	リフト作業で <u>方向変更時に急旋回</u> し、荷崩れやパレットから滑り落ちそうになり、ヒヤリとした。
2	接触ヒヤリ	7月22日	全般	青山	倉庫作業	パイプ入庫品を片付けている時、スタンションの間から <u>出ようとしたら</u> 、右側からフォークリフトが来ていてハットした。
3						
4						

急旋回



絶対ダメ



フォークリフトの死角に注意



接触ヒヤリ(1件)、転倒ヒヤリ(1件)

2025 年度(7月度)事業場別労働災害統計報告書

正規社員・外部社員

月 度	事業場	月末 在籍 人数	延 労 働 時間数	災害発生件数						一時不能日数 (暦日休業日数)				処置の方法		労働損 失日数	千 人 率			度 数 率			強度率	
				不 休 業	各休業日区分件数				全労災 合計	各休業日区分日数				外部 医療 機関	診療所 医務室 社内治 療		不休業 災害	休業 災害	全 災害	不休業 災害	休業 災害	全 災害		
					1日～ 3日	4日 以上	障害	休業 合計		合計	1日～ 3日	4日～ 以上	合計											障害
7 月 度	給油	1	84.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.000		
	輸送	16	2,907.5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.000		
	リフト※	23	3,578.5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.000		
	派遣 NTN三重製作所	3	548.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.000		
	派遣 ウチダ	2	368.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.000		
	一般	8	1,180.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.000		
	段ボール	4	428.5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.000		
	青山	2	364.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.000		
	計	59	9,458.5	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.000		

※実習生2人含む

薬箱確認 出荷場(7/29)・本社(7/29)・青山(7/29)

感染状況等	7月度	2021年8月から累計
新型コロナ感染者	0	36
新型コロナ濃厚接触者	0	16
インフルエンザ感染者	0	
合 計	0	52

部署	事故発生日	起算日	延人数	無事故時間 起算日～当月15日
給油		R5.3.16	28	1,871.5
輸送	R7.6.26	R7.6.27	16	2,907.5
リフト	R7.5.21	R7.5.22	44	6,775.0
段ボール	R6.6.14	R6.6.15	50	4,689.5
青山		R5.3.16	59	9,173.5
		合計	197	25,417.0

会社全体	事故 発生日	起算日	延人数	無事故時間 起算日～当月15日
無事故時間	R7.6.26	R7.6.27	59	9,459
無災害時間	R5.2.20	R5.3.16	1,736	270,529

※無災害時間の起算日は本末R5.2.21ですが
集計の関係上R5.3.16にしています。

※BC-R4-27(2023年2月20日発生)

重量物持ち上げによる腰痛(脊髄圧迫骨折)



※

2025 年 8 月 4 日

安全衛生委員会事務局 西村

2025 年度 全国労働衛生週間 行事实施計画（案）

“全国スローガン”

『ワーク・ライフ・バランスに意識を向けて ストレスチェックで健康職場』

《実施行事》

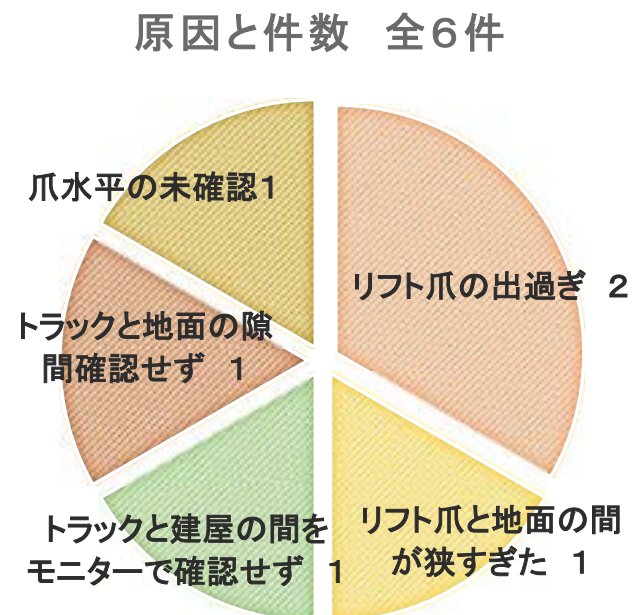
(1) 準備期間：2025 年 9 月 1 日（月）～9 月 30 日（火）

月/日	実施項目	時間	内容
9/1（月）	労働衛生週間の啓蒙	8:00	・労働衛生旗※の掲揚 ・労働衛生週間ポスターの掲示
9/12（金）	安全衛生委員会開催	11:00～ 12:00	・労働衛生週間実施要綱の説明 ・労働衛生週間行事計画の開示 ・メンタルヘルス予防対策
9/12（金）	社長・管理職による職場 巡視	14:30～ 15:30	・従業員の健康状態（熱中症等） ・衛生状況（冷蔵庫、個人ロッカー）

(2) 労働衛生週間期間：2025 年 10 月 1 日（水）～10 月 7 日（火）

月/日	実施項目	時間	内容
10/1（水）	社長メッセージ伝達	8:00	・労働衛生週間メッセージ発信 ・労働衛生スローガン唱和 （月初朝礼）
10/1（水）	全社 5 S の日	13:00～ 13:30	・5 S 実施 事務所・出荷場・倉庫・車両の清掃 不要物の廃棄 冷蔵庫・個人ロッカー
10/3（金）	安全衛生委員会開催	11:00～ 12:00	・9 月職場巡視結果報告
10/3（金）	社長・管理職による職場 巡視	14:30～ 15:30	・5 S チェック ・健康状態・衛生状況チェック

以上

[illegible]